

# おおたの教育

今号の主な内容

第102号

大田区教育委員会広報

平成22年(2010年)  
1月1日発行

- 第1面 学校支援地域本部の設置について
- 第2面 全国学力・学習状況調査の結果から教育相談のご案内
- 第3面 学校・ボランティア・図書館の連携
- 第4面 給食を通して食を考える

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

## 地域とともに子どもを育てる体制づくり

### (仮称)スクールサポートおおた

#### モデル事業がスタート

教育委員会では、平成21年6月に策定した「おおた教育振興プラン」に基づき、学校支援地域本部の設置準備を進めています。

平成21年11月1日には、道塚小学校をモデル校に指定し、大田区で第1号となる学校支援地域本部「笑顔いっぱい道塚小学校プロジェクトチーム」を立ち上げました。

今後はモデル実施校を増やし、本部組織のあり方やコーディネーターの役割などの検証を行った上で、平成25年度までに区立小・中学校全校への学校支援地域本部の設置をめざします。

問合せ|教育地域力推進担当 TEL 5744-1443 FAX 5744-1539



「お話し会」による本の読み聞かせ



#### 学校支援地域本部とは、

学校支援地域本部は、これまで各学校で行われてきたボランティアによる活動を組織化し、発展させるための仕組みです。地域の方々から自らの知識や技術を学校活動にかかわることで、子どもたちの体験活動や経験の幅が広がるとともに、多くの出会いや交流を通して規範意識やコミュニケーション能力が向上することなども期待されます。

また、地域の方々の学びや経験を活かす場となり、人の輪が広がることで、地域の絆が強まり、地域力や地域の教育力が向上すると考えています。

#### 学校支援コーディネーターとは、

学校支援コーディネーターは、学校と地域をつなぐパイプ役です。

各ボランティア団体や地域の方々との連携・協力を図りながら、学校における活動がスムーズに進むように調整するとともに活動の支援を行います。

### 小さな力も、集まれば大きな力に

「笑顔いっぱい道塚小学校プロジェクトチーム」会長  
花島 文雄

私たちの故郷のように愛着を感じる道塚小学校、まちで出会うと「こんにちは」と笑顔であいさつしてくれる子どもたち、私たち地域の大人は、学校から、子どもたちからたくさんの元気をもらっています。

11月1日にできた学校支援地域本部は、学校のために、子どもたちのために、地域の大人が力を合わせて支援を行うための組織です。この活動を通して、学校も、子どもたちも、地域も、心豊かに生きいきと輝いていくことと思います。

ものづくり、お話し会、花や野菜づくり、うさぎの世話、そして、さまざまなワークショップを中心とした学校の教育活動に、町会や保護者をはじめとする地域のいろいろな大人がかかわっていきます。一人ひとりの力は小さくとも、地域全体で力を合わせれば大きな力となります。まずは、私たちのできることから始めていきたいと思っています。



### 地域力を学校に活かして

道塚小学校長  
山本 恵美子

道塚小学校で、おおた教育振興プランに掲げられた「地域力を学校教育に活かす学校支援」のモデル事業が始まりました。

社会が激しく変化する中で子どもを取り囲む環境もさまざまとなり、学校は教員の力だけではなく地域や保護者の皆様と連携を図り、ともに子どもたちの健全育成に取り組んでいくことが求められています。

これまでも外国語活動や土曜日みちづか楽習(学習)会としての国語・算数の学習支援、栽培クラブやラビットクラブなどの環境支援、夏のわくわくスクールなどでの体験支援など、多くの地域や保護者の方にご協力をいただきました。これからは学校支援コーディネーターの方を中心に、いろいろな学校支援活動が組織的に展開されていきます。本校を舞台に、すてきな大人が集い、子どもたちと心を通わせ、たくさんの笑顔が開きますことを願っております。



全国学力・学習状況調査の結果から  
家庭と学校が連携して  
子どもたちの学力の向上を図る

問合せ先 指導課指導主事  
TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

平成21年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。結果は右表のとおりです。小学校では国語・算数ともに全国並びに東京都の平均を上回っています。中学校においては、国語・数学とも前年度の結果を上回りましたが、全国並びに東京都の平均を下回っています。

学力と生活習慣の確立や規範意識には相関関係があると言われています。同時に実施した「生活習慣についての意識調査」においては、「家の人と学校での出来事について話す」「朝食を食べる」と答えた子どもは全国並びに東京都を下回っており、家庭と学校が連携して子どもたちの学力向上を図っていくことが求められています。

この結果をもとに各学校では、さらなる授業改善に取り組むとともに、家庭と連携を図りながら「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣づけを推進してまいります。

小学校(6年生)

表の数値は(%)

【平均正答率】

	大田区	東京都	全国
国語(主として知識)	72.2	71.6	69.9
国語(主として活用)	54.0	53.6	50.5
算数(主として知識)	79.8	79.7	78.7
算数(主として活用)	58.9	58.7	54.8

【意識調査】

「家の人と学校での出来事について話をしていますか」			
	大田区	東京都	全国
している	40.0	41.4	40.5
どちらかといえばしている	29.4	30.4	30.4
計	69.4	71.8	70.9

「朝食を毎日食べていますか」			
	大田区	東京都	全国
している	88.0	89.1	88.5
どちらかといえばしている	8.1	7.2	7.5
計	96.1	96.3	96.0

中学校(3年生)

表の数値は(%)

【平均正答率】

	大田区	東京都	全国
国語(主として知識)	74.9	77.0	77.0
国語(主として活用)	71.5	73.8	74.5
数学(主として知識)	59.4	62.6	62.7
数学(主として活用)	53.6	56.8	56.9

【意識調査】

「家の人と学校での出来事について話をしていますか」			
	大田区	東京都	全国
している	25.8	27.8	27.7
どちらかといえばしている	29.8	31.4	32.1
計	55.6	59.2	59.8

「朝食を毎日食べていますか」			
	大田区	東京都	全国
している	77.6	81.3	82.2
どちらかといえばしている	12.2	10.6	10.2
計	89.8	91.9	92.4

〜話してみようあなたの悩み 話してみようあなたの心配〜

教育センター「教育相談室」をご利用ください。

子どもたちの直面するさまざまな悩みに、適切な支援・援助を行うためには早めの対応がとて大切です。一人で悩まず、まずは電話でご相談ください。

お子さんの教育や性格、  
行動上の悩みについての相談(教育相談)  
(直通電話) 5748-1201

- ▽対象 大田区に住む児童・生徒及び保護者など
- ▽相談方法 事前に電話で申込み  
電話での相談も可
- ▽相談日時 月～金曜 午前9時～午後8時  
土・日曜 午前9時～午後6時  
(祝日は除く)

▽平成20年度の主な継続相談内容

不登校・集団不適応、落ち着きがないなど行動上の問題による相談	307件
学習障害や自閉傾向などの相談	41件
心身症など神経症的問題	16件
学業不振などの学習や進路の相談	15件

障害があると思われるお子さんの  
就学や転学などの相談(就学相談)  
(直通電話) 5748-1202

- ▽対象 大田区に住む児童・生徒及び保護者など
- ▽相談方法 事前に電話で申込み
- ▽相談日時 月～金曜 午前9時～午後5時  
(祝日は除く)
- ▽内容 保護者との面接、お子さんの行動観察、医学診断など

教育センター(池上1-32-8 池上会館4階)  
交通・東急池上線池上駅下車 徒歩10分  
・JR大森駅西口からバス(池上方面行)本門寺前下車徒歩5分  
TEL 5748-0801 FAX 5748-1390

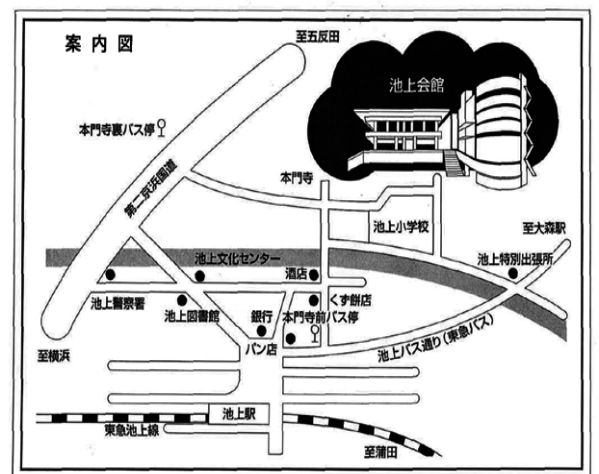
お子さん自身からの相談は、

おおたく 大田区子ども電話相談

ひとりで悩まないで、電話してみよう!

直通電話 5748-1203 (祝日は除く)

月～金曜 午前9時～午後8時  
土・日曜 午前9時～午後6時



〜子どもたちの成長を一緒に見守る〜

各学校に配置されているスクールカウンセラーにご相談ください。

大田区では、すべての区立小・中学校にスクールカウンセラーを配置しています。スクールカウンセラーの仕事は、児童・生徒や保護者とのカウンセリングだけでなく、学級訪問や教職員への助言など多岐に渡ります。特に子どもたちの気持ちに寄り添い、信頼関係を築くために、できるだけ授業時間や休み時間には校内を回り、学校生活の様子や子どもたちの変化に心を配っています。

保護者との面談では、「子どもの言動をどう理解し、かかわったらよいか」という話題がよく出ます。理解が難しい子どもの様子にいら立ちや怒りを感じる保護者も少なくなく、その気持ちには「自分は子どものことをこんなに思っているのに・・・。」という、やるせない気持ちや悲しさなどが含まれています。スクールカウンセラーができる最も大きなことは、この気持ちに寄り添っていくことだと考えています。じっくりと話をすることで、自分の気持ちや子どもとのかかわり方の整理ができるのです。この作業の中で自らのことに気づき、子どもの成長を見つげることができます。

一人で苦しい気持ちを抱えないでください。一人で悩まないでください。ぜひ、身近にいるスクールカウンセラーにご相談ください。



子ども家庭支援センターの総合相談

問合せ先 キッズな大森(子ども家庭支援センター)  
TEL 5753-1153 FAX 3763-0199

※「キッズな」は子ども家庭支援センターの愛称です。

子ども家庭支援センターでは、18歳までの子どもとその家族からの相談を受けています。「母乳が上手く飲ませられない」などの乳幼児をもつお母さんから、小・中学生のいる家庭から、時には、お子さん自身から親との関係で悩んでいるという相談を、子ども家庭相談員が電話や来所により受けています。相談内容は秘密厳守です。

また児童相談所と連携し、児童虐待への対応も行っています。通報は匿名でもお受けします。  
相談・泣き声などに関する通報(キッズな大森)

(直通電話) 5753-7830



子どもたちが手に取りたくなる、読みたくなる書架の工夫

## 魅力あふれる学校図書館へ新たな一歩

# 学校・ボランティア・図書館の連携

＝ 池上第二小学校と蓮沼中学校で学校図書館支援事業をモデル的に実施 ＝

問合先 大田図書館 TEL 3758-3051 FAX 3758-3625

### 小・中学生の読書活動を推進し、学校図書館を有効に活用するために

子どもにとっての読書とは、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないもの」です。

大田図書館では、小・中学生の読書活動を推進するための試みとして、本年度、学校へ司書教諭や司書資格をもつ専門員を1年間派遣する学校図書館支援事業をモデル的に実施しています。専門員は学校図書館の運営を支援するとともに、保護者や地域の方で構成される学校図書館ボランティアへの技術指導や助言を行い、学校とボランティアの連携による「魅力あふれる学校図書館づくり」を進めています。

#### 大田図書館 ※専門員の派遣

- ①学校図書館の整備  
(選書・除籍・書架の整理)
- ②読書相談や簡単な書籍案内
- ③図書委員やボランティアへの  
技術指導・助言

↓

学校

### 学校図書館ボランティアの活動が活発に 池上第二小学校



図書委員によるパネルシアター

学校図書館ボランティアと専門員と一緒に本のラベルの張り替えや書架整理をし、読みたい本が探しやすく、使いやすい学校図書館に変わりました。その結果、本の貸し出し量が増えるとともに、低学年の子も読んだ本をきちんと元に戻せるようになりました。また本を借りない子には、専門員が声をかけ、「本を失くしそうで不安」「読みたい本がわからない」という気持ちを聞きだし、適切に助言したことで、読書をするきっかけが生まれ、学校図書館をよく利用するようになった子もいます。

そしてボランティアの協力により、夏休み期間の水泳指導日に開館している学校図書館の内容を充実することができました。開館日には多くの子どもたちが学校図書館を訪れ、楽しんで読書する子どもで席がうまりました。

### 生徒の利用が進む学校図書館に 蓮沼中学校

学校図書館支援事業により、学校図書館を毎日開館できるようになりました。

勉強や読書をするために昼休みに学校図書館を利用する生徒も増えていきます。また専門員と生徒の信頼関係も深まり、挨拶や手伝い、読んだ本を棚に戻すなどの学校図書館利用のマナーも向上してきました。



## 調べ学習に、読書活動に役立つ

# 身近な区立図書館を活用しよう！

現在、大田区内には15の区立図書館があり、区民の皆さんの読書活動や調べ学習を支援しています。図書館には子ども向けの本や雑誌、紙芝居などをそろえた子ども室（児童室）もあります。児童・生徒の皆さんには、学校図書館同様に身近な図書館をもっともっと活用していただきたいと思っています。今号では、図書館の利用方法や活用方法を紹介します。

#### ☆貸出しカードをつくる☆

本を借りるには「貸出しカード」が必要です。図書館のカウンターで申込書を書いて提出してください。中学生以下の方は、申込書に保護者のサインが必要です。貸出しカードをつくる時は、保護者の方と一緒に来館してください。

#### ☆本を借りる☆

**貸出し数冊** 本・紙芝居12冊まで／CD・カセットテープ6点まで  
**貸出し期間** 2週間  
**予約** 借りたい本が貸出し中の場合は予約ができます。

【パソコンや携帯電話からも本の検索や予約ができます。】  
 インターネットサービスを利用するには、別途利用者登録とパスワードが必要です。詳しくは図書館までお問い合わせください。

#### ☆レファレンスサービス☆

図書館には、調べ学習に使える本や資料がたくさんあります。調べ方がわからないとき、探している本や読みたい本が見つからないときは、職員がお手伝いします。お気軽に職員にお声かけください。

開館時間 午前9時から午後7時まで（ただし、1月4日は午前10時から）

休館日 年末・年始（12月29日～1月3日）／特別整理期間

第2木曜日または第3木曜日（※下表を参照）

#### 区立図書館の所在地一覧

図書館名	所在地	電話	FAX	休館日
大田	田園調布南25-1	3758-3051	3758-3625	第2木曜日
大森南	大森南1-17-7	3744-8411	3744-8421	第3木曜日
大森東	大森東1-31-3-104	3763-9681	3298-6021	第2木曜日
大森西	大森西5-2-13	3763-1191	3298-6022	第3木曜日
馬込	中馬込2-26-10	3775-5401	3775-5841	第3木曜日
池上	池上3-27-6	3752-3341	3752-9749	第2木曜日
久が原	久が原2-28-4	3753-3343	3753-5642	第3木曜日
洗足池	南千束2-2-10	3726-0401	3726-3268	第2木曜日
浜竹	西糀谷3-32-7	3741-1185	3741-6220	第2木曜日
羽田	羽田1-11-1	3745-3221	3745-3229	第3木曜日
六郷	南六郷3-10-1	3732-4445	3736-2854	第3木曜日
下丸子	下丸子2-18-11	3759-2454	3759-2604	第3木曜日
多摩川	多摩川2-24-63	3756-1251	3756-1745	第2木曜日
蒲田	東蒲田1-19-22	3738-2459	3736-9782	第2木曜日
蒲田駅前	蒲田5-13-26-301	3736-0131	3736-1094	第3木曜日

#### ☆おはなし会の開催☆

毎週ボランティアによる「おはなし会」を行っています。また、映画会や工作会、クリスマス会なども開催しています。ぜひ、お近くの図書館へお出かけください。

# 給食を通して食を考える!!

## 食は子どもたちの心と身体をつくる大切な要素

### 【食育の重要性】

食は、子どもたちの人間性を育み、生きる力を身につけるために何より重要なことです。そして食育は、心身の成長や人格の形成に大きく影響を及ぼすとともに、生涯にわたり健康を維持し、豊かな人生を歩む基礎となるものです。

### 【食の多様化】

核家族化や共働き世帯の増加などによるライフスタイルの変化により、子どもたちの食生活は多様化しています。食の海外への依存や安全性の問題、偏食や不規則な食生活による生活習慣病の増加などの健康にかかわる食の課題とともに、「朝食を食べない」「一人で食事をする」など、子どもの食を取り巻く状況への対応も必要となっています。



クラス全員での楽しい会食で食事のマナーも身につきます(開桜小)

10月の献立から

- 栗ご飯/焼き魚
- 秋野菜の煮物
- 味噌汁/みかん
- 牛乳



### 【家庭で……】

食育は、学校と家庭が一緒になって取り組んでいかななくてはならない課題です。「今日の給食はおいしかった」「苦手のピーマンはちゃんと食べられたかな」という家庭での何気ない会話も食育の一つです。夕食のメニューに困ったときは、栄養バランスを考えた学校給食の献立を参考にしてみてもいかがでしょうか。

また、朝ごはんは1日の生活のエネルギーの源となります。各家庭でも、早寝・早起きで規則的な生活リズムをつくとともに、朝ごはんを食べて、子どもたちが元気に1日を過ごすよう指導をお願いします。

### 【学校給食費の納入のお願い】

学校給食に使用する食材費については、学校給食法の定めにより保護者の皆様にご負担いただくこととなっています。

給食費の未納は、学校給食の運営に大きな支障を生じさせます。各学校では学校給食の適正な運営と負担の公平性を保つため、未納のご家庭には電話・文書・面談などによる督促を行い、その解消に努めています。なお、経済的な理由で給食費の納入が困難な場合は、一定条件が満たされれば就学援助の制度が利用できます。詳しくは、学務課学事係までご相談ください。

### 【学校給食は、食育の生きた教材】

平成21年4月、学校給食法が大きく見直され、これまで学校給食の目的であった「栄養改善」に「食育」という観点加わり、学校給食を活用した食に関する指導の推進を図ることとされました。

学校給食は、子どもの成長に必要な栄養バランス、季節感、地域の郷土食や行事食を献立に取り込みながら、安全で安心な食材を使用して各学校で手づくりをしています。また、給食の時間をはじめ、各教科や特別活動、総合的な学習の時間の中で、給食を教材として生涯にわたる健康づくりの基礎となる「適切な食事・栄養の摂り方を理解し自らの健康を管理する力」「使われている食品を深く知ることで品質や安全性を判断できる力」などの育成を図っています。



給食は緊張から開放されリフレッシュできる時間です(大森第三中)

問合先 学務課  
保健給食係(給食費について)  
TEL 5744-1431 FAX 5744-1536  
学事係(就学援助について)  
TEL 5744-1429 FAX 5744-1536



## 第1回 おおたの教育研究発表会

平成20年度から大田区教育研究推進校として取り組みを進めている7つの学校が2年間の研究成果を発表します。

この発表会は、各研究推進校での研究成果を区立学校全体で共有し、授業改善に取り組み、教員の授業力の向上を図るとともに、多くの保護者や地域の方に参加いただき、学校や子どもたちのことに関心をもっていただく機会とすることを目的としています。

- 日時 平成22年2月9日(火)午後2時～
- 場所 大田区立池上会館 2階集会室(池上1-32-8)
- 研究発表校と研究のテーマ

小学校名	研究のテーマ
馬込第二	言葉から感じ、考え、学び合う児童の育成 ～国語科および音楽科・図画工作科における言語活動を通して～
田園調布	学習力を育てる ～問題解決過程の中で育つ子どもたち～
松 仙	心も体も健やかな子どもの育成をめざして ～体育・健康教育を通して～
池 雪	学び・学び合う学校をめざして ～個の学びから 集団の学びへ そして個の学びへ～
小 池	体験的な活動や人とのかかわり合いの中で 確かな自己肯定感をはぐくむ指導の工夫
清水窪	生活科・理科・大好きな子を育てる サイエンスコミュニケーション
おなづか	「伝え合う力の育成」新学習指導要領に基づく指導計画の見直しと指導方法の工夫・改善 ～国語科「話すこと・聞くこと」の言語活動を中心として～

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

## 表彰

- 文化部門
  - ・高尾の森わくわくビレッジわくわくアートコンテスト「最優秀賞」梅田小6年 山崎 大毅/「日本自然保護協会賞」梅田小6年 櫻井 真生
- スポーツ部門
  - ・第58回東京都中学校夏季ソフトボール選手権大会「優勝」御園中学校女子ソフトボール部
  - ・第48回東京都中学校総合体育大会(ソフトテニス)「男子団体3位」志茂田中学校ソフトテニス部 「個人(ダブルス)3位」志茂田中3年 湯澤 弘平・湯澤 宗平
  - ・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(シンクロナイズドスイミング)「チーム3位/デュエット7位」志茂田中3年 三橋 若菜
  - ・第27回全日本小・中学生個人選抜剣道練成大会「出場」道塚小6年 渡邊 桃子
  - ・第26回全日本少年軟式野球東京都大会「優勝」大森ホワイトスネークス

## 教育委員会の主な議題

- 平成21年第9回定例会
  - ・公文書非開示決定等処分に係る審査請求に対する裁決について
- 平成21年第4回臨時会
  - ・大田区区立図書館指定管理者の選定について

## 教育委員会定例会の開催予定日

- 日時 平成22年1月21日(木)  
平成22年2月17日(水)  
平成22年3月29日(月)
- 時間 午後2時から
- 場所 本庁舎6階 教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合先 教育総務課庶務係  
TEL 5744-1422  
FAX 5744-1535

